

令和7年度 江戸川区立篠崎第四小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 「よく考え、つくり出す子」 「みんなとともにのびる子」 「たくましく生きる子」 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> 安全で心地よい学校・子供を大事にする学校・学ぶ喜びを知る学校・地域と共に歩む学校 主体的に学び、自分の成長を喜び、学びに意欲をもって取り組む子・自他の生命を尊び生命相手の立場や気持ちを考えて行動できる子・運動の楽しさを味わい心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる子 子供を愛し大切にできる教師・学校の仲間、地域、自分を大切にできる教師・専門性を持ち、教育のプロとして自己肯定感を持つ教師
前年度までの本校の現状	成果 ○篠四スタンダードに取り組み、落ち着いた学習環境で学ぶことができた。 ○開校50周年記念行事に取り組み、学校・地域に対する愛情を振り返ることができた。 ○地域・外部との体験的な学習に取り組み、楽しい学校生活を推進することができた。 ○縄跳びや篠四ダンス、持久走など体力向上の取り組みを持続させることができた。	課題	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートの確実な実施・研修に取り組んだが、個別対応で課題が残った。 ユニバーサルデザインを念頭に授業改善に取り組んだが、基礎学力の定着にはさらなる学習の積み重ねが必要である。 個々のコミュニケーション力の育成、安心・安全な学校づくりについては、改善を続けていきたい。 教職員の働き方改革には、引き続き取り組み、児童のための活力ある学校づくりをすすめていきたい。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価（A~D）		「年度末」学校関係者評価（A~D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	○学力の向上のための学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ベーシックタイムの実施 習熟の学習時間の確保 家庭や放課後学習教室と連携した毎日の家庭学習 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上への取り組みの肯定的意見の割合を80%以上 	92	91	B	学習時間について、確保しているが、有効に時間を使い、成果が上がるよう、努力する。	A	アンケートでは、92%の肯定的回答を得た。引き続き協力・連携をお願いし、学力の向上に努めてほしい。	B	タブレットの学力向上への活用を推進しなければならない。既習事項の習熟やかけ算九九についての取り組みがよかった。	B	学習面での学校での取り組みがわからないところがあり、判断しにくい。	タブレットは学習のためのものと繰り返し確認し、学力の向上にさらに活用していく。
	○個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインや体験を生かした授業改善 個が主体の楽しい授業 ICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に楽しく取り組んでいる・主体的な学習の肯定的意見の割合80%以上 	86	87	B	主体的な学びについては、各教科で校内研究も含め、全校で授業改善に取り組んでいる。	B	アンケートでは、86%の肯定的回答を得た。Aの回答は30%にとどまっているので、今後も努力をしていってほしい。	A	校内研究では、だれ一人取り残さない全員が考えをもって課題に取り組む実践を全学年で推進した。	B	ユニバーサルデザインの授業についてどんなことをしているのか知りたい。	学習の様子・体験的な学びの様子についても積極的に発信を行う。
	○読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> 篠崎子ども図書館による資料準備・整備を活用 学校応援団との連携 ICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 図書等を活用した学習に取り組んでいるの肯定的意見の割合を80%以上 	89	91	B	資料準備・整備を行い、使いやすい環境を整えた。応援団の読み聞かせもしていただき、本に親しみ、ICTの活用もできた。	B	アンケートでは、89%の肯定的回答を得たが、図書の活用については、引き続き取り組んでいく必要がある。	A	篠崎子ども図書館と連携し、資料や新たな本を児童に読ませる環境を継続した。調べ学習も計画的に行い、学びが深まった。	B	タブレットについて家でルールを守らせることができないことがある。制限をかけてほしい。	タブレットルールは、引き続き保護者に確認し、調べ学習を充実させる。
体力向上	○体力向上の視点に立った取り組みの実施	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通した縄跳び運動 行事を生かした体力向上 篠四ダンスの継続 運動量の確保された授業 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上を図っている肯定的意見の割合を80%以上 	98	99	B	行事の取り組みで技能や体力を向上させることができた。篠四ダンスはPTAの行事でも行えた。縄跳び運動も取り組めた。	A	アンケートでは、98%の肯定的回答を得た。今後も体力向上に取り組んでほしい。	A	なわとびウイークや持久走タイムを行いながら、縄跳び運動や走る・ゲーム等楽しみながら体を動かすことができた。	A	アンケートでは99%の肯定的回答となった。	意欲を高めて、運動に継続して楽しんで取り組ませていく。
	○歯の健康の意識化よい生活習慣の維持と改善	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の歯の健康についての啓発の取り組み 食育・家庭と連携した生活リズム週間の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨きとフッ化物洗口の実施・気持ちのよい生活、生活習慣の肯定的意見80% 	96	98	A	フッ化物洗口が、定着し、歯の健康について、意識が高まった。3年生の歯科講話では主体的に学ぶ児童の姿であった。	A	アンケートでは、96%の肯定的回答を得た。気持ちよく過ごせるように生活習慣への呼びかけを続けたい。	A	歯科検診結果では、虫歯のある子の割合が、江戸川区の平均より10ポイント少なかった。健康について意識が高まった。	A	アンケートでは98%の肯定的回答となった。	継続して保健指導を行い、保護者にも基本的な生活習慣の重要性を伝え続ける。
	○行事を通した体力向上	<ul style="list-style-type: none"> 体育学習発表会での意欲的な取り組み スポーツテストへのめあてを持った取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 行事後アンケートの肯定的意見8割 スポーツテスト分析昨年結果を越える 	90	99	A	体育学習発表会・スポーツテストの取り組みで技能や体力を向上させることができた。	A	体育学習発表会後のアンケートでは、実施時期、施設関係以外の児童の様子について、肯定的回答を得た。	A	体育学習発表会では、技能を大きく伸ばしたが、スポーツテストでは、練習時間が短かった反省が残った。	A	アンケートでは99%の肯定的回答となった。	練習の計画的実施を工夫していく。
実現に向けた教育の推進	○他者との気持ちのよいコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動の取り組み 篠四スタンダードの全員による意識化 校内委員会での対応 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちの良い生活への肯定的意見の割合を80%以上 	90	96	A	代表委員会のあいさつ運動では、児童の主体的な活動の意識が伝わった。篠四スタンダードは呼びかけを続けていく。	A	アンケートでは、100%の肯定的回答を得た。楽しく通えている状態に感謝しつつ、引き続き努力してほしい。	A	主体的に挨拶する児童が多くなってきた。言葉遣い、気持ちの良い生活については、引き続き全職員で取り組んでいく。	A	地域の見守りをしているが、挨拶をしてきて嬉しい。これからも共に見守っていきたい。	気持ちの良い他者との関わりについて、継続した指導を全校で心がける。
	○特別支援教育への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 巡回指導教員や特別支援教室専門員の活用と連携 指導記録の活用と校内研修・SCとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解と特別支援教育への取り組みの肯定的意見の割合を80%以上 	97	94	B	コーディネーター、巡回指導教員との連携により、全教職員で児童の育成に取り組んでいる。引き続き努力したい。	A	アンケートでは、97%の肯定的回答を得た。Lgateや全員面接など定期的な取り組みも活用し、努力する必要がある。	B	Lgateや全員面接など定期的に取り組み、日頃の観察と共に児童の様子を観察し、安心な生活を目指し実践した。	A	Lgateの活用について肯定的意見があった。アンケートでは94%の肯定的回答となった。	引き続き、情報共有しながら、チーム対応していく。
	○個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 校内委員会での連携 SSWの活用 個別の指導の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 年間2回以上の保護者面接 個に応じた指導の肯定的意見80% 	80	94	B	校内委員会等の活用により全職員で連携するとともにSSW・SCなどの力も借りて、よりよい指導助言に努めた。	B	個に応じた指導のアンケートでは、97%の肯定的回答を得た。引き続き連携してほしい。	A	保護者面接を2回以上行った。必要に応じて細やかに相談を積み重ね、改善策等を確認するなどした。	A	お世話になり、ありがたい。引き続きの対応をお願いしたい。アンケートでは94%の肯定的回答となった。	報告・連絡・相談を守り、迅速な対応を継続する。
いじめ不登校の	○いじめアンケートの確実な実施と対応	<ul style="list-style-type: none"> 全児童にアンケートを毎学期実施する。 全員面接を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめに対する適切な指導の肯定的意見の割合を80%以上 	80	95	B	アンケートの第1回と全員面接を行った。それ以外にもいじめの疑いがある案件にすぐ対応するよう心がけている。	B	気持ちのよい生活のための約束やきまりの定着に関するアンケートでは、97%の肯定的回答を得た。	B	アンケートは3回行うとともに、個別の相談に対応してきた。	B	いじめについては、早期の解決をお願いしたい。	引き続き、早期発見、チーム対応で明るい生活の維持に努める。
	○豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動 異学年交流（なかよし班）等の活動。 体験的学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいの肯定的意見の割合80%以上 	96	98	A	あいさつ運動・なかよし班活動の実施ができた。外部講師を招いた体験的学習にも取り組んでいる。	A	学校が楽しいのアンケートでは、100%の肯定的回答を得た。異学年交流の活動では、96%の肯定的回答を得た。	A	なかよし班活動では児童の成長、楽しい達成感が見られた。各学年や全校の体験的学習も多数行い、楽しい学びができた。	A	学校が楽しいのアンケートでは100%、異学年交流で96%の肯定的回答を得た。具体的な取り組みを知ってほしい。	状況の紹介をさらに発信していく。

充実	○豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・情報モラル教育の充実 ・特別活動での集会活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的な判断力や心情を育てているの肯定的意見の割合を80%以上 	96	97	B	道徳授業地区公開講座では、人権にかかわる授業を全学級で行い、標語にも取り組み意識を高めた。	A	アンケートでは、96%の肯定的回答を得た。協力や助け合いの楽しさを引き続き味わわせてほしい。	B	集会活動では、豊かな活動で子供の喜ぶ姿があった。情報モラルについても授業を行った。	A	アンケートでは、97%の肯定的回答を得た。引き続き心や判断力を育ててほしい。	児童一人一人が考える活動を引き続き行っていく。
学校の実現 開かれた地域社会に	○学校からの情報の積極的発信	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談、保護者会、各種便り、HPでの情報発信 tetoruによる情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの活用等により連携しての肯定的意見の割合を80%以上 	97	98	B	tetoruでの発信も含め、時機を逸せず、発信するようにしている。わかりやすいよう、今後も努力していく。	A	アンケートでは、97%の肯定的回答を得た。	B	tetoruで発信する回数も多く、できるかぎり早い対応を行っている。今後もわかりやすい発信に努力する。	A	お便りをtetoruで発信してほしい。HPでの活用がよくわからない。不審者情報を具体的にしてほしい。	一部tetoruで発信する。HP掲載場所などの周知を行う。警察への迅速な通報を呼びかける。
	○学校関係者評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートの実施と結果考察の実施 ・学校評議員との連携 ・町会行事への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートを2回行う。 ・評議員会を3回以上実施する。 	80	95	B	学校アンケート1回目の考察を終え、改善・連携に生かしている。町会行事準備から参加した。	B	町会行事もともに行い、地域と共に子供を見守った。学校評議員も親しく学校に来校し、安全な生活に支援してくれている。	A	学校アンケートを2回実施し、学校運営に役立てた。学校評議員とも連絡を取り合い、豊かな学校生活を推進してきた。	A	引き続き、よろしく願いしたい。	次年度も、地域の声、保護者の声をいただき、円滑な学校運営を心掛ける。
	○OPTAとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会 ・学校応援団との連携 ・PTAイベントを生かした児童の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい開かれた学校の肯定的意見の割合を80%以上 	91	93	A	鹿骨区民館祭り、7丁目町会盆踊り、地域とも連携し、PTAが尽力してくださっている。	A	アンケートでは、91%の肯定的回答を得た。オータムフェスティバルの準備の連携がありがたい。	A	6年生の活躍もPTAの支援で楽しいものになった。PTAの安全見守り、イベントは児童の楽しい活動となった。	A	PTAの仕事の整理、精選の必要がある。	子どものための連携・支援を続けたい。
教育の展開 特色ある	○ユニバーサルデザインの活用による主体的に学ぶ授業方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを取り入れた、わかりやすい授業の工夫。意欲を高める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の授業研究を行う ・主体的な学習の項目80%以上 	86	88	B	1学期に2学年の研究授業を行うとともに、講師を招いた講演会の事例研修を行い、授業方法の工夫に取り組んできた。	B	アンケートでは、86%の肯定的回答を得た。今後も努力をお願いしたい。	B	どの子にもわかりやすい授業の追及を行い、成果を教職員で共有した。学力は向上している。	B	アンケートでは、88%の肯定的回答を得た。ユニバーサルデザインについて説明がほしい。	学習状況の情報発信を積極的に行う。
	○縦割り班等異学年交流による共にのびる子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし班により、思いやりの心、責任感、自己有用感等の醸成をすすめる。 ・学年の交流で共に育つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流の活動への肯定的意見の割合を80%以上 	96	98	A	なかよし班活動、学年活動、では、互いに気遣いながら、楽しく行動することができた。	A	アンケートでは、96%の肯定的回答を得た。	A	なかよし班は年間通して楽しく活動できた。それ以外にも他学年を招待しての学習活動を活発に行った。	A	アンケートでは、98%の肯定的回答を得た。	次年度も異学年交流を計画、実行する。
	○6年生全員参加のマーチングバンド活動	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿骨区民館祭りへの参加 ・体育学習発表会 ・区民まつりへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域と連携した教育活動の肯定的意見の割合を80%以上 	97	99	A	マーチングの技能向上のため教員が指導助言し、育てている。地域と共に参加し、児童の達成感も感じられた。	A	アンケートでは、97%の肯定的回答を得た。6年生の活動には、保護者・地域が応援をしてくれている。	A	5年生への引継ぎ式も終わり、伝統が引き継がれ、技能の教え合いも行われている。	A	アンケートでは、99%の肯定的回答を得た。6年生のマーチングはすばらしい。伝統を引き継いでほしい。	引き続き児童を励まし育てていく。